



春が来た！

★ ご投稿・ご意見・ご要望：mailmag@casej.jpまで

～～～～～
本期内容

- ★編集者語 ----- 陶 恵栄
- 協会動態
 - ・2013年吴江创新创业洽谈会邀请信 ----- 事務局
 - ・老会員薛昊罡博士との交流会 ----- 藤 勁兵
- 会員投稿
 - ・研究と教育の両立 ----- 陈 文权
- 侨办来稿
 - ・镇江侨办春节慰问信 ----- 许 宝庆
- 新入会員紹介
 - ・王 徳東の自己紹介 ----- 王 徳東
- その他
 - ・会員状況 ----- 事務局
 - ・投稿案内 ----- メールマガ編集部
 - ・メールマガ編集委員募集 ----- メールマガ編集部

★ 編集者語

陶 恵栄

全日本中国人博士協会に入会してから、協会のメールマガジンの愛読者として、5年経ちました。入会時の自己紹介や投稿も積極的に参加しました。2012年から、全日本中国人博士協会メールマガジン編集者の仲間に入り、今度会員の皆様が協会のメールマガジンを愛読されるための立場に変わり、責任感を感じさせます。

世の中に「完全な男と完全な女はいない」のように、自分も不完全な一員として、自分の専門分野の知識を生かして、メールマガジンの編集に参加し、会員の皆様に役に立つことができれば、幸いと思います。

近年、博士協会の現状に皆さんは心配した通りで、当初先輩たちが協会を立ち上げた時の「宗旨：務実・創造・架橋・貢献」という違った形で力が分散してしまいました。団体の発展途中によくあることで、「分久必合」という物事の流れですが、各自の知恵を発揮し、いまこそ一緒になる気持ちも強く感じます。メールマガジンも先輩たちが作った「宗旨」に沿って、より沢山の会員情報を提供し、実務的な交流を实践し、全日本中国人博士協会は皆さんに誇りを感じるような協会を、力を合わせて、一緒に末永くして育てましょう。

■ 編集者紹介

陶恵栄、男、1963年上海出身。1986年上海第二軍医大学軍医系を卒業して、4ヶ月の中越自衛反撃戦後の小規模な交戦見学し、軍医として二回戦闘参加体験をしました。その後、上海の病院で肝臓専門医として6年間勤めました。

1992年私費留学生で来日し、北海道大学医学部第三内科骨髓移植研究で博士課程を卒業し、1998年中国医学を中心として予防医学を提供する「陶氏診療院」を設立しました。2007年から、中国医学の普及を目的する「漢方アロマ療養師育成校」を設立、今まで、120名以上生徒さんが各コースを卒業に送り出し、3500人以上、18万回数以上診療を行い、難病・奇病・痛みなどを改善し、中国医学脅威なパワーが日本の大衆に伝えました。また、開院以来、留学生、華僑華人に無料診療を続け、好評と信頼をいただきました。2009-2010年、北海道華僑華人連合会会長、全日本華僑華人会副会長、2011-12年北海道華僑華人連合会名誉会長を務め、現在札幌市倫理法人会副会長、北海道中小企業家同友会札幌支部北地区会副会長、ロータリー米山奨学生学友会（北海道）理事など、社会貢献にも勤めています。

北海道大学留学中、中国医学の治療法で、植物人間患者を治療し、患者が普通生活できるまで回復するはじめ、「黄帝内経」の中国医学治未病の思想に基づいて、「調気・調血・調水・調心」の四調を用いた「陶氏陰陽バランス健康法」を提唱し、16年間、沢山がんや生活習慣病など様々な病状を改善し、毎年学会で発表しました。中国医学の知恵で、人々の健康をサポートしています。（参考<http://www.aromori.com/taoshi-clinic/>）

=====

■協会動態

~~~~~

### ■2013年吴江创新创业洽谈会邀请信

事務局

江苏省苏州市吴江区诚邀全球新能源、新材料、智能电网、纳米技术、医药和生物技术、现代装备制造、软件和服务外包、金融服务、文化创意九大产业领域承担过重大科研项目的创新人才，拥有独立知识产权和智力成果的创业人才来吴共襄创新创业盛举！

吴江位于太湖之滨和江苏省最南端，东临上海，南连杭州，西濒太湖，北依苏州，区位优势得天独厚。境内水道纵横、湖荡密布，物产丰富、经济发达，是一座历史文化底蕴深厚的江南古城，也是一座充满生机和商机的创业创新之城。2012年，吴江地区生产总值突破1321亿元，工业总产值超过3791亿元，一般预算收入119亿元。雄厚的产业发展基础，优越的人文自然环境，为人才提供了良好的发展平台。2012年福布斯中国大陆创新城市原县级吴江市排在苏州、深圳、上海之后位列第四名，连续三年蝉联全国县级市首位。

吴江创新创业洽谈会是苏州国际精英创业周期间的一项重要活动，旨在为海内外高层次人才、创新创业项目、科技创新载体和风险投资机构搭建高端交流洽谈平台，促进人才、项目、载体、资金、信息等创新创业要素的多元对接。迄今，吴江创新创业洽谈会已成功举办了三届，吸引了来自中、美、加、德等国534名嘉宾、单位代表，三年内促成9个创新项目，87个创业项目落户吴江，创业项目注册资金达到4.3亿元，引进国家“千人计划”人才5人，江苏省“高层次创新创业人才引进计划”人才5人。

洽谈会相关事项：

(1) 报名时间：2013年5月31日之前报名人员，项目评审通过后将邀请参加2013苏州国际精英创业周吴江分会场活动，以后报名的人员，通过项目评审后将受邀参加2014年创业周活动。

(2) 报名条件：一般应具有硕士以上学历，三年以上相关工作经验。参会项目达到国际先进水平且具备实施的法律保障。

(3) 嘉宾待遇：组委会承担会议期间的食宿费用，并给予吴江邀请的嘉宾一定的差旅费补贴，欧美、大洋洲地区按 500 美元/人、亚洲地区按 300 美元/人标准补贴，国内嘉宾（有项目合作意向）按 1000 元人民币/人标准补贴。

(4) 相关政策：《关于实施吴江市人才创新创业“55352”工程的若干意见》（吴发[2010]28 号）（详见附件 1）

(5) 有意申报者请填写参会申请（详见附件 2），传真至 86-512-63981865 或发送电子邮件至 [zgwjkx@163.com](mailto:zgwjkx@163.com)，经组委会审议通过后，将收到组委会发来的正式邀请函。

(6) 为便于组委会项目审核，建议报名者将详细的项目计划书以电子邮件形式一并发送至 [zgwjkx@163.com](mailto:zgwjkx@163.com)

(7) 咨询电话：86-512-63981866 联系人：顾先生

附 1：吴江人才创新创业“55352”工程介绍

附 2：参会申请

=====

■老会员薛昊罡博士との交流会

滕 勁兵



2月16日、本会老会員薛昊罡博士从国内来东京出差，住在东京地区附近的5位老会員为薛博士举办了简单的接风洗尘欢迎会。大家把酒叙旧，气氛欢快融洽。

薛昊罡博士1984年毕业于延边医学院，1999年在日本山梨医科大学获得整形外科（骨外科）博士学位，2000年到日本医科大学解剖学教研室任教，2006年被聘为北华大学客座教授，2009年5月做为引进人才到北华大学工作。被聘为教授、医学部副主任，2009年10月兼任第一临床医院副院长。

---

## ■会員投稿

陈文权

敬愛なる皆様へ

米国の費城は朝から再び雪が降りまじめ回りを真っ白になってくる際、皆様に新年のご挨拶をさせていただきます。

明けましておめでとうございます。2013年は、皆様にとって良い年であるようにお祈り致します。

2012年は中日40周年国交記念の年で残念で大変動乱な年になりました。私にとってもインドネシアを離れて日本に来てちょうど同様な年になる記念すべき年でもあります。

私事で大変恐縮ですが、いろんな出来事の中から、「研究と教育の両立」の課題に関する報告で、TED (Ideas Worth Spreading)で早大を代表する講演ビデオと読売朝刊の取採記事外に、2件ほど面白いことを皆と共有致します。

昨年、弊大学は建学150周年（2032年）に迎ってWaseda Vision 150構想を発足し、その一番重要な目標は教育改革である“早稲田大学の教養教育を考える”とのテーマ、伸べ9回シンポジウムを実施してきました。参加する同僚や学生らから、早大が目標をしているのは「正に、スタント先生の提唱・実践した教育ではないか」と、第3回のシンポの際に「教養教育の力ってどんなものでしょうか、学生の素質か人間力にも言いますか」と主催役員や理事に質問をしたときに、「正直って我々もまだよくわかりませんが、おっしゃった通り、人間力やモチベーションを上げるなども含まれているでしょう。だから今年の9月までに目標にし、皆様と会議を重ねて、意見を吸収して教養力をあげる教育は一体どんなものか、どのようにすればよいかを明白にしたいのです」と漠然の答えが来ました。「先生が日本で20年前（世界で25年前）からすでに結果を出している教育（スタントメソッドや感動教育等）はありますが、早大はやっと今から計画の案を練って、20年後の150周年の2032年に実施するとの計画ですね」、「そうしますと、先生は実に45年を早大よりリードしている意味ですね。しかも2032年にやっと始まり、だれもその実用性や成果をだせるかどうかは保証がないでしょう。今までいろいろ教育改革もあったが、あまり良い結果がないままで、大人や学生の教育は実に難しく特に教養や道德に関するとなおさらとのことです。先生は早稲田と半世紀より早かったですね。先生の先見性はすごい！」と蘇霞氏が面白くコメントしてくれました。

次に特記するのは2012年11月9日の早稲田大学総合研究機構の年間研究報告会の公募結果は、私の早稲田大学公認の「臨床教育科学研究所」は、早大の伸べ167研究所の中から選ばれて入賞し、国際会議ための助成金や人員の援助を頂き、Waseda Global Innovation Symposium, 2012 WGISを実施しました。タイトルは“モチベーションを高める教育法。意識変化をもたす教育の実践結果” “Motivational Education: Field Report to Bring Change in People's Mind”

極短い準備期間にも関わらず、平日にも参加人数は最近5年の記録を最高であり、天気も恵まれて大会が成功に終わりました。お陰様で、招待講演中、「学生や社員の意識の変化と現場報告」のテーマに7人の企業役員や大学の教授がそれぞれ15分の発表、それに今大会の主役は、やはり伸べ15人学生たちです。8年前から学部2年生だった学生から現役学部生（2年生から4年生）、中には米国から1年交換留学生とシンガポールから帰国子女がたった4回の講義の参加で、学会並みの原稿を見ずにそれぞれ7分から15分の与えられた時間内に、壇上に堂々と発表できて会場から次から次へ惜しまなく拍手を送ってくれました。4年前に受講した広松氏のご自分がモンスター学生からミニスタントまでの意識変化・成長物語をご自分の生々しいTrue storyでの講演は多くの観衆の涙を誘って、彼の勇気と正直さに心を打たれました。

25年前から一貫して実践してきた「スタントメソッド」と感動教育の教育理念と教育哲学による大学生の素質・教養力の向上に確実な成果があります。早大にて国際会議の形式でご紹介することができること、四半世紀に渡って国際舞台（米国、日本、欧州、中国、インドネシア、タイ、シンガポール、マライシアなど）に実践するものが認められたことに実に感無量の想いです。

（関係する記事をどうぞ下記のURLを）

大変恐縮ですが、日本語、中国語及びインドネシア語の一部報道をお笑覧、

1. 陈文权教授“感动教育”创造奇迹

<http://www.rbzwd.com/rwzf/2012/11-15/415.shtml>

2. 25年間で目に見張る進化を遂げたスタントメソッド

[http://www.yokosojapan.net/article.php/motivation-seminar111201\\_editor\\_ja](http://www.yokosojapan.net/article.php/motivation-seminar111201_editor_ja)

3. 華人教授“感动教育”创造奇迹.

中文導報, 2012.11.22 (Imageファイル)

**4. Ken Soetanto Menaklukkan Sistem Pendidikan Jepang**

<http://www.shnews.co/detile-11681-ken-soetanto-menaklukkan-sistem-pendidikan-jepang.html>

5. Motivasi Belajar ala Ken Soetanto Beken di Jepang

<http://www.republika.co.id/berita/komunitas/perhimpunan-pelajar-indonesia/12/12/05/mejqrf-motivasi-belajar-ala-ken-soetanto-beken-di-jepang>

6. KEN SOETANTO TAKLUKAN SISTEM PENDIDIKAN DI JEPANG

<http://antarajendeladunia.blogspot.jp/>

また、読売新聞は（日本語と英語）

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/renai/20111214-0YT8T00146.htm>

<http://www.yomiuri.co.jp/dy/features/language/T120203002772.htm>

etc.

今年もご指導のほど、どうぞよろしく申し上げます。

スタント, 陈文权 (米国, 費城)

Ken Soetanto

Professor, Waseda University

<http://kensoetanto.com/>

<http://www.youtube.com/watch?v=0NrvauG6m8E&feature=relmfu>

=====  
■ 侨办来稿

镇江市人民政府侨务办公室

尊敬的海外朋友：

值此中国传统佳节——春节到来之际，我代表镇江市人民政府侨务办公室和镇江市海外交流协会全体同仁真诚地祝福您和您的家人，祝愿你们在新的一年里新年快乐、家庭幸福、事业兴旺！

回顾 2012 年，全市侨务工作者同心同德、锐意创新、不懈努力，侨务工作取得了显著成绩。一是引“资”助力，为项目立市战略添业绩。全年先后邀请金鹰国际、亚洲金融、香港弘阳等在实业、资本、上市等方面的优势企业来镇参观考察，商讨合作。对三星能源装备、金鹰广场等 20 多个经济、科技项目进行引荐和推进，目前，澳创科技园、雅狮酒店、建华投资、索普二氧化碳回收等总投资 5 亿美元项目相继落户。二是借“智”助力，服务“人才兴市”战略。6 月份成功承办由国侨办经科司、省侨办和市政府联合举办的“华侨华人专业人士创业发展镇江洽谈会”，来自海外 14 个国家和地区的 80 名高层次人才携带 87 个项目参会，14 个项目当场签约。9 月，32 名海外高层次人才参加了的“2012 相聚长三角-海外高层次人才镇江扬中、润州行”活动，与当地的创业载体、企业进行了较为深入的对接洽谈，成效显著。三是暖“侨”助力，为侨服务更加务实。全年走访侨港资企业 40 多家，了解情况及时协调市有关部门为企业排忧解难、办实事，深受他们欢迎。同时积极帮助海归企业申报各级各类资助计划，获得资金、税收、政策等各方面的扶持。强化镇江市华商会等平台建设，活跃会务、强化服务、推进发展。今年，仅江苏融锦集团、天工国际等企业增资扩股超亿元。

2013 年，镇江市委、市政府将继续围绕高端装备制造、新能源、新材料、航空制造、电子信息等新兴产业推进经济转型升级，同时，我市“331”高层次人才引进计划也将继续接受报名，欢迎您通过《镇江市人社局》网站进行网上申报。我办将一如既往的为广大海外华侨华人来镇创业投资、寻找发展机会做好服务工作！也期盼您继续支持关心我办的侨务工作！

再次祝您新春愉快，蛇年大吉！

附件是新春贺卡。

[http://www.zjqw.gov.cn/zxgg/201302/t20130205\\_855110.htm](http://www.zjqw.gov.cn/zxgg/201302/t20130205_855110.htm)

---

## ■新入会員紹介

王 徳東

私は2002年に来日し、千葉大学大学院へ入学し、2005年に工学修士学位を取得しました。その後東京大学大学院に入学し、2009年3月に工学博士（建築学）学位を取得しました。同年4月に三井物産株式会社に就職し、2010年8月会社機構改組により三井物産スチール株式会社に勤めることとなり、現在に至っております。

学生時代に新しい知識を吸収、消化し、毎年国内外で学術論文を発表して社会に貢献して来ました。社会人になった後、中国向けを中心とした鉄鋼貿易業務並びに関連投資業務の企画・立案・実行を行い、日本と中国の架け橋として会社・社会に貢献しています。日本に滞在したこの10年間で先生・同僚の皆様と良好な人間関係も築いております。日本人の問題の考え方、価値観などを十分に理解し、しらすしらすのうちに日本社会に溶け込んでおります。

これから博士協会の一員として日本で学んだものを国際社会へ貢献し、日本社会で得たものを国際社会に還元したいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら博士協会の皆様のご健康とと多幸を心よりお祈り申し上げます。

王 徳東

2013年2月

追記：  
昨年の五月に結婚しました。  
結婚の写真を添付いたします。



---

■その他

会員状況

事務局

今日現在までに、1月+2名、2月+1名、今期の新入会員数は3名です。合計481名が入会しています。

投稿募集

協会のメルマガが隔月1期を発行しています。会員には、ご自分の研究紹介、感想、雑談、思い出、提案などがあれば、どんなささやかなことでも構いませんので、皆さんからのご投稿をお待ちしております。

連絡先：メルマガ編集委員会 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

---

メルマガ編集部の募集

メルマガは我が協会内の情報誌で、全ての会員のご参与を期待しております。メルマガは隔月一回発行し、今のところは4人の編集者が分担して編集・校正を行い、作業自体はそれほど複雑ではないです。我が協会を活性化させるため、有志の方にはぜひご応募頂ければ、と思います。一緒に博士協会を盛り上げましょう！ご応募をお待ちしております。

応募先：メルマガ編集部 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

~~~~~

事務局からのお願い

転職や就職などでメールアドレスの変更が発生した場合には、ぜひ事務局あて (office@casej.jp) にご一報ください。

=====
本期編集担当：陶 恵栄校正：事務局

配 信 元 ：全日本中国人博士協会事務局 office@casej.jp

<http://www.casej.jp>

Copyright (c) 2013 — 全日本中国人博士協会 — All rights reserved.

=====
メルマガ編集部

部長

康 喜軍（編集担当）

副部長

陶恵栄（編集担当）

郭 陽（編集担当）

孫蓮花（編集担当）

事務局（校正・発行担当）
=====